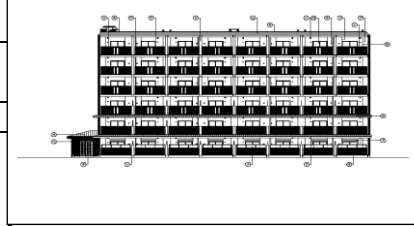


CASBEE® 新築[簡易版]

評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE-新築(簡易版) 2010年版 | 使用評価ソフト: CASBEE-NCb_2010(v.1.8)

| 1-1 建物概要 | | 1-2 外観 | |
|----------|----------------------|--------|------------|
| 建物名称 | 片山勝様共同住宅 | 階数 | 地上6F |
| 建設地 | 京都府宇治市五ヶ庄北ノ庄32-1、3 | 構造 | RC造 |
| 用途地域 | 第一種住居地域、準防火地域 | 平均居住人員 | 96 人 |
| 気候区分 | 地域区分IV | 年間使用時間 | 8,760 時間/年 |
| 建物用途 | 集合住宅 | 評価の段階 | 実施設計段階評価 |
| 竣工年 | 2015年6月 予定 | 評価の実施日 | 2014年6月14日 |
| 敷地面積 | 2,183 m ² | 作成者 | |
| 建築面積 | 468 m ² | 確認日 | 2014年6月15日 |
| 延床面積 | 2,471 m ² | 確認者 | |



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 0.8 ★★☆☆☆☆

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★ B: ★★ C: ★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

☆☆☆☆☆

30%: ☆☆☆☆ 60%: ☆☆☆ 80%: ☆☆☆ 100%: ☆☆☆ 100%超: ☆

標準計算

①参照値 ②建築物の取組み ③上記+②以外の ④上記+

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q 環境品質 Qのスコア = 3.0

| Q1 室内環境 (Q1のスコア = 3.0) | Q2 サービス性能 (Q2のスコア = 3.2) | Q3 室外環境(敷地内) (Q3のスコア = 2.9) |
|--|------------------------------|--------------------------------|
| 音環境: 3.0, 温熱環境: 3.0, 光・視環境: 3.0, 空気環境: 3.0 | 機能性: 3.4, 耐用性: 3.0, 対応性: 3.0 | 生物環境: 2.0, まちなみ: 4.0, 地域性: 2.5 |

LR 環境負荷低減性 LRのスコア = 2.6

| LR1 エネルギー (LR1のスコア = 2.4) | LR2 資源・マテリアル (LR2のスコア = 2.7) | LR3 敷地外環境 (LR3のスコア = 2.9) |
|--|----------------------------------|----------------------------------|
| 建物の: 3.0, 自然エネ: 3.5, 設備システ: 1.4, 効率的: N.A. | 水資源: 3.0, 非再生材料の: 2.7, 汚染物質: 2.5 | 地球温暖化: 2.9, 地域環境: 2.7, 周辺環境: 3.2 |

| 3 設計上の配慮事項 | | |
|---|---|---|
| 総合 ・設備システムの高効率化を図り、エネルギー使用量を削減しています。 | その他 注) 上記の6つのカテゴリー以外に、建設工事における廃棄物削減・リサイクル、歴史的建造物の保存など、建物自体の環境性能としてCASBEEで評価し難い環境配慮の取組みがあれば、ここに記載してください。 | |
| Q1 室内環境 ・標準的な仕様で室内環境に配慮しています。 | Q2 サービス性能 ・建物維持管理に配慮しています。 | Q3 室外環境(敷地内) ・オートロック機能を設置し、防犯性に配慮しています。 |
| LR1 エネルギー ・外気に接する外壁・屋根に適切な断熱を施して外皮性能に配慮しています。 | LR2 資源・マテリアル ・躯体と仕上げ材が容易に分別可能になっています(躯体+軽鉄+PB)。 | LR3 敷地外環境 ・ライフサイクルCO ₂ 排出率は95%となっています。 |

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Building Environmental Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生涯の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される